

# スペイン留学で 幅が広がった接客の仕事



「ケーキ屋さんになりたい」。多くの女の子が持つ夢が、思わぬカタチで発展。株式会社バハルボールが経営するスペイン料理店「エル フォゴン」のサービススタッフを務める坂田文さんは、明るく人懐っこい接客に定評があるとともに、2012年2月のスペイン留学をキッカケとしてスペイン語の勉強も開始。自らスペイン文化に深く関わるとともに、より幅広いサービスの実現に向けてチャレンジを続けています。



「接客は苦手」「知らない人とは話せない」…私はいわゆる“シャイガール”でした。そんな私が最初のアルバイト先として選んだのはケーキ屋さん。子どもの頃から「ケーキ屋さんになりたい」という夢があったからです。そこで生まれて初めて接客（販売）の仕事をしたのですが、意外にもお客さまと接することを楽しいと感じました。そこが私の接客業の原点でしたね。

大学卒業後、パン専門店で就職し、お客さまと接する仕事にやりがいを感じていました。でも、就職して2年ほどした時、もっとじっくり接客ができる仕事をしたいと思うようになったんです。パンの販売はお客さまと接する時間が短いですし、ご提案やご説明ができる商品にも限りがあります。お客さまとより長い時間を共有し、喜んでいただきたい…と考えた時にたどり着いたのが、「レストランで働こう!」という答えでした。

そんな中、友達に勧められたお店が株式会社バハルボールが経営するエルフォゴンだったんです。実際に行ってみると、料理はおいしいし、スタッフも楽しそうに働いているのがすごく印象的でした。そして「お客さまと近い距離でじっくり」という接客スタイルが、私のイメージに最も近かったので、その後、即、応募の電話を入れ、入社することになりました。2011年4月のことです。

エルフォゴンのホールスタッフになった当初は本来の人見知りの性格から、「お客さまにいつ、どう話しかけたらいいのかわからない」と悩んだ時期はありましたが、だんだんレストランでの接客に慣れることができました。そしてもうひとつ「スペイン料理を扱うのだから、スペインをもっと知りたい。知識だけでなく、実際に行ってみてみたい」という気持ちが芽生え始めました。

バハルボールの社員には年に1カ月間のバケーションをとることができる制度があります。私のバケーションは2012年の2月でした。私はその期間を利用してスペインに行くことを決め、オーナーにも伝えました。すると、オーナーから「どうせならスペイン語留学してみないか?」という意外な提案をいただいたんです。スペインの食を中心とした文化をいろいろ見てみたいという気持ちがあったのですが、語学学校やホームステイ先のアテンドをすべて会社がバックアップしてくれるということだったので、語学留学にしようと思いました。

留学先はバルセロナの語学学校。ノルウェーやドイツなどから来た人

たちとともにスペイン語のレッスンを受けました。みんなフレンドリーですぐに仲良くなることができ、最初は互いの共通言語である英語で話していたのですが、日本ではある程度英語が話せるつもりでいた私を感じたのは、実際のコミュニケーションで使う英語（外国語）は、まったく別種のものであるということ。とてもいい経験になりました。また、ホームステイ先はひとり暮らしのおばあちゃんが3人の留学生を受け入れているところでした。こちらも最初は英語で話していたのですが、それではいけないと思い、辞書を片手に話をするようになりました。おばあちゃんが料理をしているところを見せてもらい、「それは何?」って聞いたりしながら、徐々にスペイン語に慣れていきました。

スペイン語が話せるようになったと感じ始めたのは、2週間の語学留学が終了する頃です。帰りに立ち寄ったマドリードのホテルの予約もスペイン語で電話予約することができました。また、その頃から急にスペイン語がより「わかる」「話せる」ようになり、留学の成果を実感。「留学期間中にもっと積極的に人に話しかけたらよかった」とか反省点はありましたが、初めての、しかも2週間少々の語学留学としては、収穫が多かったと思います。

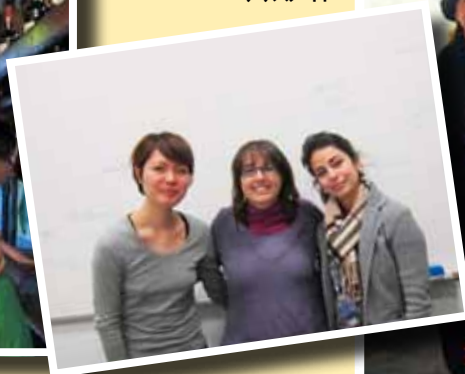
帰国後も私はスペイン語の勉強を続けています。最初は独学でやっていたのですが、最近では会社の語学支援制度を利用して京都外国語大学のスペイン語講座に週1回通い、実際にスペイン人と接しながらスペイン語を学んでいます。また、接客の仕事にもスペイン留学の影響がありました。スペインではひとりでレストランに入ると、お店の人が「おいしい?」と気軽に声をかけてくれてすごく居心地が良かったのです。エルフォゴンでも外国人観光客のお客さまがたくさんいらっしゃいますが、私もそんな自然な接客を心がけるようになりました。

私がバハルボールに入社して1年半が過ぎましたが、スタッフがそれぞれ高いモチベーションを持って、「みんなが互いに引っ張って会社を盛り上げている」というところがいいですね。私は社員の中では若い方ですが、意見をどんどん言いやすい環境もあります。そして、2013年2月には2回目のスペイン留学をすることになりましたが、自分のスキルアップにつながる充実したものにしたいと思っています。（坂田文）

バルセロナのレストランのオーナーとの写真



写真下：語学学校の先生とクラスメイト



坂田さんは、バハルボールグループのエルフォゴンにて元気に活躍中です。詳細はウェブページをご覧ください! <http://www.elfogon.jp/>

スペイン人スタッフとスペイン語が話せるスタッフ